

## 「ポストコロナ社会を見据えたこれからの鉄道事業」

**日時：5月10日(火) 16:50-18:35 (5限)**

**国際学術総合研究棟4階SMBCHホール  
対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、東日本旅客鉄道株式会社取締役会長 富田哲郎 氏からお話を伺います。

国鉄分割民営化から35年が経過しました。JR東日本は、社員の懸命な努力と景気拡大の局面にも支えられ、順調な経営を実現してきましたが、こうした経営環境を一変させたのがコロナ禍であります。感染拡大防止の観点からテレワークの推奨や移動自粛などにより、鉄道利用はかつてない減少幅を受け、民営化後初めて赤字を記録しました。コロナ禍によって生まれたこうした変化は、ポストコロナの時代になっても元には戻らないと見込まれる中で、こうした変化を奇貨として、社員のエンゲージメントを向上させ、新たな挑戦を通じて変化をする企業経営を考えていきます。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加・アクセス出来ません。)

※ オンライン授業URLはITC-LMS又はUTASで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

—問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット [ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp)—



東日本旅客鉄道株式会社  
取締役会長

**富田 哲郎 氏**